



「初教かわらばん」の読者の皆様、日頃より、大変お世話になっております。

今年度四月から、岡利道先生より学科長という大役を受け継ぎ、五月の本学会定期総会にて選出、承認され、本学会の会長を務めることになりました。本学会に赴任して、七年目の未熟者ではありますが、会員の皆様のお力をお借りして、本学会のよりよい運営に尽力して参りたいと思っております。

さて、私たちが集う広島文教女子大学教育学会、そしてその拠点としての初等教育学科も、今年三月に二十九期生が卒業し、来年度には、教育学会設立三十周年を迎えることとなりました。

そこで、本稿を借りて、教育学会の目的を一度確認してみたいと思いました。

本教育学会は、「実践力のある女教師の育成」をめざして、昭和五十六年（一九八一年）四月に初等教育学科が開設されたのを機に、「児童期の教育方法を科学的に追求する」という目標を定めて、学会の組織がつけられました。そして、準備期間を経て、昭和六十年（一九八五年）より毎年、春には定期総会、秋には研究発表会が開催されることとなり、現在に至っています。途中、短期大学部、幼児教育学科が発展解消され、初等教育学科に吸収統合されたことにより、幼児教育研究の部門も加わり、学会活動が益々充実してきていることは言うまでもありません。

新会長より



学科長 高橋 泰道

本会の会員は、広島文教女子大学文学部初等教育学科の学生・卒業生、同大学院文学研究科教育学専攻の院生・修了生、広島文教女子大学短期大学部幼児教育学科の卒業生、教職員、及び本会の趣旨に賛同の者をもって構成し、「会員相互の緊密な連絡を保ち、教育に関する研究活動、情報交換、その他の諸活動を通じて、会員の教育研究及び教育実践についての研鑽・理解並びに会員相互の親睦を深めることを目的」としています。

しかしながら、近年、十年会員以降の会員の継続数が減っており、卒業生の皆さんの教育研究及び教育実践についての研鑽・理解並びに会員相互、あるいは学生との親睦の場として十分機能していないのではと案じております。

一方、平成二十一年度より、本学でも教員免許状更新講習が始まり、卒業生の方々が遠方からもお出でになり、卒業生同士、あるいは当時からおられる先生方との再会を喜ばれる姿も見受けられるようになりました。

来年度学会創設三十周年を迎えるにあたり、ぜひこのような機会も利用して、会員を継続していただけるよう努力し、学会のさらなる活性化を図っていかねばならないと感じております。

会員の皆様におかれましても、ぜひ本学会を実践研究の発表・交流の場としてご利用いただき、学会誌への投稿、あるいは研究発表会への参加・発表、「かわらばん」やホームページの有効利用等により、本学会が卒業生相互、学生にとっての学びの場、交流の場となりますよう、心から願っております。

今後とも、本学会に対して、さらなるご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

初教 KAWARABAN

第 15 号
2013.7.29

広島文教女子大学
教育学会 発行

がんばっています! 図画工作

1 本学科卒業生のイラストレーター & デザイナー・きざみ葱さんの展覧会報告!!

4月27日(土)、28日(日)の2日間、広島市中区本川町のRenoReno Galleryで、幼児教育コース図画工作ゼミ卒業生の「きざみ葱」さん(荒木麻里さん)の展覧会が開かれました。この展覧会は、友人の「ままま」さん(吉岡彩さん)との2人展であり、広島をテーマにした展覧会、題して「広島ズームズーム展」です。地元広島が大好きな「きざみ葱」さん、3年前から広島で活動している「ままま」さんによるイラストの展示、スタンブリー、オリジナルグッズの販売等がありました。中でも、「きざみ葱」さんによるオリジナルキャラクター「広島県神ジャロウガー」が大人気でした!! 当日は、「ひろしま菓子博2013」開催中であり、「ひろしまスイーツレディ」として菓子博のPRに務めていた大野智美さん(初教24期生・幼児教育コース)も会場にかけつけてくれました。広島色溢れるユニークな展覧会であり、大盛況でした!!



「ままま」さん(左)と「きざみ葱」さん(右)



「ひろしまスイーツレディ」大野智美さん(左)と「きざみ葱」さん(右)



大人気!!「ジャロウガー」変身グッズ



ジャロウガー(きざみ葱・作)と鹿の子(ままま・作)

アクセスして
みてください!

★きざみ葱のブログ「ねぎ畑.com」
★広島県神 ジャロウガー official BLOG

2 第99回光風会展で光風奨励賞を受賞された佐伯育郎先生にインタビュー!!

レポーター：庄野友子(幼教工ゼミ4年)

今回、第99回光風会展で光風奨励賞を受賞された図画工作担当の佐伯育郎先生にインタビューしました!

光風会とは、絵画部門と工芸部門から成り立つ全国的な美術団体です。明治45年に設立し、来年2014年で記念すべき100回展を迎える歴史ある展覧会です。

先生は8年前の第92回光風会展に初出品初入選され、その後毎年出品し、続けて入選されています。光風会展に出品するようになったのは、広島県美術展に連続入選されたことがきっかけで、先生の恩師である故・北田和広氏に光風会展に出品してみないかと誘われたからです。先生は、力試しのために、勉強のためかと思っ出品されたようです。ちなみに、北田和広氏の作品は、2号館2階に飾られているので、是非見に行ってみてください! 日本三景・厳島(広島県の宮島)の舞楽をテーマとした、とても迫力のある素晴らしい作品です!

光風会展は、まず4月に東京で展覧

会があり、4大都市(名古屋・京都・広島・金沢)を巡回します。第95回光風会展、4度目の入選作が、光風会広島展の中国新聞社賞を受賞したことがきっかけで、日展にも出品され入選しておられます。

今回とうとう! 全国から選ばれる光風奨励賞を受賞されました。昨年・一昨年は賞候補止まりだったそうです。なんと! この光風会奨励賞は、今年の搬入総数915点(絵画839点、工芸76点)、うち入選作529点(絵画462点、工芸67点)中の8人(絵画部門)しか受賞していません! とても素晴らしい賞なのです。

佐伯先生といえばフクロウ。子どもの頃から鳥好きで、特にフクロウがお好きだったようです。先生のお父さんは鳥がお好きで、鳥の写真をよく撮っておら

れ、先生は写真のかわりに鳥の絵をよく描いておられたそうです。ただし、学生の時は油彩画が苦手であったこともあり、フクロウをうまく絵に出来なかったそうで、文教に来られてから本格的に描くようになられました。

今、既に新しい作品に取り掛かっておられるそうで、これからの先生の更なる活躍に乞うご期待です!!



受賞作「使者・目覚め~Minerva」油彩、F100号



展覧会の様子

卒業生は今...

先生になってよかった!!

広島市立古田台小学校 高柿 成美(初教27期生)



私の将来の夢は、小学生のときから「小学校の先生になること」でした。想い続けた夢を叶え、現在は、広島市立古田台小学校で5年生25名の担任をしています。「人を大切にする学級」「自分の頑張りや成長を全員が語れる学級」を目指すことと伝えた4月。友達の「よいところ」を見付け、伝えることができる子どもたちです。「当たり前」のことを「当たり前」に取り組める子どもたちです。自分たちで目標を決めて努力できる子どもたちです。本当に力のある子どもたちです。私もそんな子どもたちに負けたくない、日々奮闘しています。

教員になって3年目。私の「支え」について書きます。

1つ目は、子どもの存在です。1年目、2年目と6年生の担任をしました。高学年と接することの難しさに悩み、自分の力のなさが不甲斐なく、何度も涙しました。「やめようかな...」そう考えたこともあります。そんなとき、頭をよぎるのは子どもたちの姿でした。友達と無邪気に走り回る姿、楽しそうに給食を食べる姿、授業で一生懸命に考える姿...子どもの姿が私の支えでした。そんな姿を思い出す度に、「私がこの子たちの担任なんだ。この子たちは私が育てるんだ。」と強く思い、前に進むことができました。担任をしてきたすべての子どもたちが私の宝です!

2つ目は、同じ職場の先生の存在です。心から尊敬している先生です。言葉では言い表せないくらい多くのことを学びました。その先生の授業を見たとき、子どもの生き生きとした姿に自然と涙がでました。学校が楽しい! 授業が楽しい! 先生が大好き!...見ているだけで伝わってきました。私はその先生に出会って、「一生教師を続けよう!」と心に決めました。いつかその先生のように、どの子どもにも学校の楽しさ、学ぶ楽しさを感じさせてやりたいと思っています。目標とする先生がすぐ近くにいるということは、本当にありがたいことです!

それから、文教の仲間。仕事の話をしたり、くだらない話をしたり...一緒にいるだけで安心して笑って...文教の仲間なしでは生きていけないと思います!

最後に、私が担任として教訓にしていること...

「教師の人間性は、すべて子どもに伝わっている」ということ。

子どもはすべてお見通しです。先生と子ども...である以前に人と人。だからこそ私は、いつでも本気で子どもと向き合い、勝負し続ける人間でいたいと思っています!

初教・三姉妹

突撃レポート

園山さんご一家を訪ねて!!

～田頭・岡の 家族に乾杯 in 島根～

レポーター

田頭穂積、岡 利道

前回、長崎県の安永さんご一家取材させていただいてから、はや二年。お待たせしました！今回は、島根県の園山さんご一家を訪ねさせていただきました。姉妹三人とも初等教育学科へ！そのご家族に、是非ともお会いしてお話を伺いたいという思いから、本シリーズ企画が始まりました。

現在、三女の由華さんが4年在学中(30期生・体育専修)で、長女真知子さんは24期生・体育専修(広島市で小学校教員)、次女紗世さんは29期生・幼児教育コース(出雲市で保育士)でした。

園山さんのお宅は、出雲市(旧・平田市)で老舗旅館を営んでいらっしゃいましたが、その後はさらにホテルや社会福祉施設等にも関わっておられます。ご多忙中、快くお出迎えいただき、田頭・岡とも、自然と深く頭が下がりました。夕食を共にさせていただいたひととき、お父さんは、次から次へと、地元の発展のために貢献したい(いいところを伸ばし、改めるところは改めるなど)というお話を聞かせてくださり、教育の世界にも通じるものがあると感じました。

また、お母さんからは、文教は親身になって子どもを育ててくれる面倒見のいい大学として信頼しているというお話を聞かせていただき、大変恐縮するとともに、

身の引き締まる思いがしました。この辺りが三姉妹を初教に送って下さった要因なのかもしれませんね。

帰路、田頭いわく、「お父さんがあんなにエネルギーシユなお仕事ができるのも、お母さんの純子さんが、阿吽の呼吸で二人三脚なさっているからですね。」と。岡が応えて、「そうですね。田頭先生に以前もお話していましたが、純子さんは岡の同級生で、中学校の時は一緒に学級代表委員を務めていました。芯が強いのに、表には出さず、柔らかく包んで、にこやかに役割を果たしておられました。今も全く同じでした。」と申しました。

後日、長女・真知子さんの広島のご家族にも、大学の体育館まで足をお運びいただきました。当日は、「初教バレーボール大会」が行われており、参加教員とスナップ写真を撮らせていただきましたので、こちらに掲載いたします。

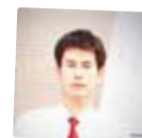
最後になりましたが、園山家の皆様、ご多忙のところ、楽しいお話をたくさん聞かせていただきましたこと、また、大変あたたかいおもてなしを賜りましたこと、心より御礼申し上げます！



前列左より
三女の由華さん・お父さんの繁さん・お母さんの純子さん・次女の紗世さん
後列左より 岡・田頭
紗世さんは、この4月から出雲市の保育所に勤務。
由華さんは、この夏に小学校教員採用試験にチャレンジ。



長女の真知子さんと夫の哲平さん、長男の権更くん、長女の芹奈ちゃんを囲んで。真知子さんは広島市立の小学校教諭。



長男の貴之(よしひのぶ)さん
※お目にかかれませんが、中学校教諭であり、剣道部監督としても活躍中です！

新人の先生にインタビュー!

今年初教に仲間入りされた森下 要治先生にインタビューしました!

森下先生のプロフィール☆

- ★出身：島根県
- ★好きな食べ物：お魚
- ★好きなスポーツ：陸上
- ★好きな芸能人：永作博美
- ★長所：声が大きいこと
- ★短所：気が短い



編) 初教のイメージはhowですか?

森下) 昔風。例えばみんなで色んなことをワイワイ言いながら作り上げようとする所とか。いい意味の懐かしさを感じる。とにかく昔風(^ ^)

編) 国語の魅力は何ですか?

森下) あんまりないですよ(笑)ただ、日本文学の研究ということで言えば、この研究をやっている僕でないと気づかないことが世の中にはいっぱい

ようじ 要治先生にインタビューしました!

あるから僕にとってはおもしろいんです。僕は文教から一歩外に出ると日本文学研究者なので。(キメ顔)

編) 大学時代の思い出を教えてください。

森下) 変な思い出しかないです(笑)バブルの時代に生きていたので、アルバイトなどはすごくする賢くしてましたね。(笑)

編) 大学生のうちやっておいた方がよいことを教えてください。

森下) 難しいとか長いという意味で自分が絶対に読めそうにない本を大学時代に読んでおいた方がよいと思う。あともうひとつあって、最近の教育の世界では自ら考えることが重視されているので、そういう時代だからあえて記憶することを強調したいな、と思います。そうすることで、他の大学にはない特色が出てくると思います!

●1年生編集委員)以下(編) インタビュー: 編集委員1年 衛藤麻衣、大久保知香、岡岡春香

森下先生が私たちの質問に真剣に答えてくださったので、とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました!これからも初教1年のチューターとしてよろしくお祈りします☆



衛藤麻衣さん、森下先生、大久保知香さん

編集後記

巻頭には、新学科長及び新会長の高橋先生に登場してもらいました。2号館を中心とした新しい風が吹き始めています。

目玉記事は、特別企画「OTコンビ」による突撃レポートです。三姉妹初教というご家族訪問第2弾です。お楽しみ!!!

(MK)

平成25年度 初教スタッフ (五十音順)

今崎 浩、植田ひとみ、上村 加奈、大山 綾子
岡 利道、川西 正行、黒木 晶子、佐伯 育郎
新宅 雅和、杉山 浩之、高橋 泰道、田頭 穂積
徳本 達夫、橋村 勝明、牧 亮太、村上 典章
森 哲之、森下 要治、吉田 裕午、善本 桂子

平成25年度 初教かわらばん編集スタッフ

川西 正行、岡 利道、上村 加奈、佐伯 育郎
大山 綾子、林 那々子、庄野 友子、瀬良ちひろ
末光 優香、藤田 成美、藤村 望美、岡野 桃菜
國本 秋穂、手島 真美、衛藤 麻衣、大久保知香
岡岡 春香

初教かわらばんイラスト担当

東 実樹(初教3年・算数専修)

次の要領で原稿をお寄せ下さい。掲載分につきましては、薄謝進呈。

- 分量 800字程度
- 写真 1~2枚
- 送り先 〒731-0295 広島市安佐北区可部東1-2-1 広島文教女子大学 川西正行あて または mkawanishi@h-bunkyo.ac.jp



卒業生 からの声より

28期生 横田 正子さん(大阪府)

良い先輩、同期に囲まれ、毎日楽しく働いております。また広島に行く機会がありましたら、大学に寄り添っていただきたいと思います。

27期生 上岡千恵さん(世羅町)

満3歳児クラスの担任をしています。行事は追われず、子ども達の事を考えると悩んだりすることも多いですが、子ども達の成長を感じることができ、子ども達の笑顔は癒されたりして、とりあえず私自身も楽しく過ごしています。大学にもまた遊びに行きますー♥

26期生 前田真希さん(広島市)

福岡市の教採に合格しました。夏は、面接のご指導ご支援ありがとうございました。また、うかがわせていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

25期生 井口美和さん(旧姓:上中)(福山市)

今は専業主婦をしながら、もう少し8カ月になる娘の子育てをしています。大学と保育所に勤務する中で学んだことを生かして、楽しみながら日々の子育てを頑張っています。

24期生 村川寛子さん(旧姓:神原)(岡山県)

娘も1歳になり、日々成長を感じ、毎日楽しく過ごしています。先日、卒業以来約4年ぶりに大学におじゃまさせていただきました。変わらずない雰囲気、懐かし、初心にかえった気がしました。

23期生 坂野由希さん(旧姓:宇田津)(東京都)

7月に入籍しました。初の同じ職場2年目になります。東京の子どもたちには負けたくない、毎日、頑張っています!

22期生 藤井菜々さん(香川県)

保育士7年目です。今年は2歳のクラス担任になりました。今は運動会の練習を頑張っています。毎日、子どもたちと楽しく過ごしています。

21期生 土屋友さん(大分県)

ボランティアでバレエの教師を続けています。大学で学んだことを生かして、日々、子どもたちと楽しく過ごしております。

20期生 上野真由さん(旧姓:梅岡)(鳥取県)

4才と1才の男の子を育てながら、市内の小学校で学校支援員として勤務しています。その傍ら、念願だった保育士の資格も取得できました。

19期生 野田智佳さん(旧姓:足立)(大阪府)

現在6ヶ月の男の子の母親にいらっしゃいます。文教で習った手遊び歌が気に入っています。もっとまじめに勉強していれば...と思う毎日です(笑)

9期生 東由水枝さん(広島市)

生涯教育アドバイザー、キャリアアドバイザーとして講座の企画・運営・講師をしています。今一番多く依頼されるのは、ワーク・ライフ・バランス、女性のキャリア支援講座です。9期生の皆さんは、教員生活も長く、ベテラン教師として、活躍してください。



please!

おたよりください!